

中心市街地活性化 調査特別委員会

十月五日開催

エスプラッツについて

〔説明〕 八、九月の入場者数について、二、三階では目標を上回り、一階では若干下回っている。また、日曜や雨天時は入場者数が少ない。車利用率も低いことから客単価が想定より伸びていない。これらを踏まえて

①エスプラッツの知名度②車利用率③各施設の魅力の三つの向上を図りたい。

二階の医療健康ゾーン三カ所について、小児科医、在宅看護支援拠点施設、カルチャーセンターの三者と交渉しているが、条件面ではほぼ合意している。

施設全体の管理運営について、業務をさらに精査した後、二十年三月議会に指定管理者の指定議案を提出したい。

〔質問〕 本来、中心市街地への集客が目的。エスプラッツ界隈の歩行者通行量調査を早急に行うべきでは。

〔答弁〕 エスプラッツが周辺にどのくらいの効果を及ぼしているか検証できるような調査を実施したい。

〔質問〕 一階商業施設は近隣者がターゲットなので、車利用率が低いことは驚くべきことではない。むしろ、一時間駐車無料分の市の持ち出し分が少なく済む。例えば、バス等公共交通機関の運賃割引をするなどの集客策も考えられないか。

〔答弁〕 安定した施設運営のためには客単価が高い車利用者を増やす必要がある。公共交通機関を利用した集客策は、他の事例等情報を集めて研究したい。

〔質問〕 こういった施設は、日曜の入場者数が多いのが普通。例えば、三階のカルチャーセンターの日曜営業など、対応はできないか。

〔答弁〕 カルチャーセンターの日曜営業はおおむね合意していただいている。中心市街地はオープン前から日曜が閑散としていたので、今後は周辺商店街とイベント等をきっかけに連携を図り、日曜の集客に努めたい。

〔意見〕 中心市街地の活性化が本来の目的であり、エスプラッツは単なるきっかけで検討すべきである。

市立病院等 調査特別委員会

十月三十日開催

旧共立病院の今後の利活用策について

〔説明〕 旧共立病院については、これまで市役所内や民間での利活用の検討、さらに民間事業者への売却等を模索したが進展がなかった。また、この特別委員会で、病院単独でなく、市全体で検討をすべきとの意見

があつていたことから、旧共立病院利活用検討委員会を立ち上げ、市としての利活用策等の検討を進めた。三回の検討委員会と現地視察を行った結果、建物を十分利活用できるのではないかと結論に至った。市全体として考えた場合、埋蔵文化財をはじめとする収蔵庫が不足しており、文化財収蔵庫としてのプレハブ六棟の設置だけでも約四千万円が見込まれる。また旧共

立病院の解体にも五、六千万円が必要であるため、これまで議論してきた建物解体との方向性を転換することになるが、再度建物の公用地での利活用に移行をした。ただ、この場合病院事業会計財産から市の一般会計財産に移管するため、企業債の繰り上げ償還や国、県の補助金の取り扱い、財源の確保等の対応が大変重要になるので、今後旧共立

病院利活用検討委員会で協議を重ね、さまざまな問題点の検証を進めていきたい。

〔質問〕 財政面での見通し、期間的な見通しはどうか。

〔答弁〕 一般会計上は厳しうが具体的な方向が決まった時点で財源の確保に努めたい。また期間的には平成二十年度をめどに進めたい。

〔質問〕 将来的には、文化財の展示、見学ができるような施設としての利活用も

〔質問〕 将来的には、文化財の展示、見学ができるような施設としての利活用も

〔質問〕 将来的には、文化財の展示、見学ができるような施設としての利活用も

〔質問〕 将来的には、文化財の展示、見学ができるような施設としての利活用も

〔質問〕 将来的には、文化財の展示、見学ができるような施設としての利活用も

特別委員会

考えられないか。〔答弁〕 選択肢の一つとして検討していきたい。

〔意見〕 重要な財産の保管場所であることを、地域の方へ十分説明を行ってほしい。景観の問題等については古湯・熊の川温泉地活性化運営委員会とも協議を行い、地域の意見も取り入れていただきたい。利活用に



旧共立病院



けにすぎない。市の視点はエスプラッツに集中しすぎ。もっと全体的な視野で取り組むべきである。